

岡崎のまちづくり情報をお届けします!

りた便り

Vol.

30

NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 機関紙〔2009年3月1日〕

2月は、各事業グループ責任者が集まり、平成21年度の事業方針を検討しました。これまで以上に地域密着型で地域交流センターの運営を進めることはもちろん、次年度に新規事業として「これまでの事業の成果や蓄積を情報発信する、冊子や書籍の出版の企画」「事業規模毎に対応したNPO支援事業の実施」を考えています。りた発足以来、受託事業への対応に力点をおかざるを得ない環境にありましたが、次年度は「りたが主体となって市民に参加を呼びかける、まちづくり事業」に着手します。



3月は、各地域交流センターで、利用者及び地域住民に向けた運営懇談会を予定しています（詳細は4ページ参照）。センターをご利用してお気づきの点、今後の事業実施に向けたご意見など、どんどんいただければと思います。また、21日開催の理事会にて次年度の新体制について検討し、組織強化をする予定です。



写真提供: 鶴田義秋 (やはざかん)

旧本多邸を考える市民会議 事業報告

今回は、先日 今年度のすべてのワークショップが完了しました「旧本多邸を考える市民会議」についてご紹介します。

近代化遺産

近代化遺産とは、幕末から第二次世界大戦期までの間に建設され、わが国の近代化に貢献した産業・交通・土木に係り、その発展や変化の様子が顕著に現れている建造物のことをいいます。これらには、普段何気なく利用している駅舎や橋、公共施設、町工場をはじめ、個人の住宅なども含まれます。

戦後、日本は高度経済成長に伴い、大きな社会変革を遂げました。都市には現代的な建造物があふれ、その一方で、歴史的建造物は指定文化財以外が多く破壊されていったのです。特に明治期以後に作られた建造物は、社会的評価も受けないうまま消滅、もしくは消滅の危機に晒されてきました。

この反省から、近年（特に平成に入ってから）、明治期以後第2次世界大戦期までに作られた建造物（近代化遺産）に対する評価が高まり、社会的関心も次第に高まってきています。それを受けて、平成20年に「歴史まちづくり法（地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律）」が制定されました。

こうした、国民的意識の変化を受けて、岡崎市でも近代化遺産の保全と活用がすすめられています。そしてその中のひとつが、今回ご紹介する旧本多邸になります。



旧本多邸の復元と活用

岡崎市が復元活用する、以下の建物について、市民のアイデアを広く求めるための市民会議の運営をりたが行っています。

概要

- (1) 旧所在地 東京都世田谷区
- (2) 規模・形式 延床面積 540㎡ 外観スパニッシュ様式の和洋館並列型住宅
- (3) 建築年 昭和6～7年(1931～32年)
- (4) 備品の修理 平成14年～19年度に調査および修理



本多家

- ・本多家は「徳川四天王」と称された一人の本多忠勝ほんだただかつの直系で、江戸時代には譜代大名であった。
- ・本多家（通称：後本多家）は、江戸時代後期の岡崎藩主である。
- ・所有者は最後の岡崎藩主となった本多忠直ただなお氏の孫・忠次ただつぐ氏である。
- ・忠次氏の父の忠敬氏は、岡崎城跡（現在の岡崎公園一帯）を岡崎市に寄付された人である。

復元の経緯

平成12年に、本多家から岡崎市に対して、建築部材、付属備品、家具・調度品など一式の寄付申出があり、岡崎市は復元・活用することを前提に寄付受納しました。

旧本多邸を考える市民会議

第1回 (2008年9月9日)

第1回では「そもそも旧本多邸とはどういう建物なのか」「どんな縁があって岡崎に移築されることになったのか」といった説明がなされ、それに関する様々な質疑がなされました。

その後、ゲストとしてお招きした延藤安弘先生(愛知産業大学大学院教授)による幻燈会が行われ、建築物にまつわる絵本の紹介や、古い建物を活用した先進的な事例を紹介していただきました。

※当初予定されていた8月30日は大雨により延期になりました。



第2回 (2008年10月25日)

第2回では「旧本多邸の復元について」や、さらには「旧本多邸と岡崎市内にあるその他の歴史的建築物とのつながり」、また「岡崎全体のまちづくりにおける位置づけ」などについて、活発な議論がかわされました。



第3回 (2009年1月31日)

「岡崎市文化財フォーラム～市内の近代遺産と旧本多邸の可能性を探る～」

第3回は拡大市民会議として、学識者による基調講演と、専門家・学芸員・一般市民・行政担当者によるパネルディスカッションが開催されました。

冒頭で岡崎市が近代化遺産活用についての基本方針の紹介がされ、基調講演・パネルディスカッションを経て、参加者の皆さんから積極的な意見をいただきました。

【基調講演】講師：内田青蔵(埼玉大学教授)

【パネルディスカッション】コーディネーター：延藤安弘(先述)

パネリスト：杉山経子(杉山経子建築+デザイン研究室主宰)

中野裕子(学芸員)・小西亮(市民活動家)

安藤耕一(教育委員会教育部次長) [敬称略]



第4回 (2009年2月21日)

第4回はこれまでの市民会議で出された意見を受け、「岡崎市内の近代化遺産について」と「旧本多邸の活用について」それぞれのテーブルと、またそれらについて総合的な話し合いがしたいというテーブルに分かれ、活発な議論が交わされました。



旧本多邸を考える市民会議は、来年度以降も開催される予定です。岡崎の文化財について興味・関心がある方は、今後も市政だより等に情報が掲載される予定ですので、ぜひチェックしてください！

① 『籠田公園計画ワークショップ』

日時:3月6日(金) 19:00~21:00
 場所:Libra301 会議室
 主催:岡崎市公園緑地課
 内容:籠田公園再整備に向けた市民ワークショップの第5回目。これまでの市民意見のとりまとめを行います。

各地域交流センターの、平成20年度における事業報告を行うとともに、次年度に向けた事業計画について、市民の皆さんの意見をいただく場です。

② 『市民活動団体事業成果報告会』

日時:3月7日(土) 9:00~11:30
 場所:岡崎市甲山会館ホール
 主催:岡崎市市民協働推進課
 内容:市民公益活動助成金報告会、市民協働事業公募事業報告会があります。りたが実施した「市民協働のための基礎調査事業」の報告も行います。

③ 『やはぎかん運営懇談会』

日時:3月18日(水) 10:00~12:00
 場所:岡崎市西部地域交流センター・やはぎかん

④ 『よりなん運営懇談会』

日時:3月21日(土) 13:30~15:30
 場所:岡崎市南部地域交流センター・よりなん

⑤ 『なごみん運営懇談会』

日時:3月27日(金) 14:00~16:00
 場所:岡崎市北部地域交流センター・なごみん

専門家派遣

まち育ての現場に赴きます。

① 『文化のみちワークショップ』

日時:3月14日(土) 13:00~17:00
 場所:名古屋市政資料館
 主催:文化のみちワークショップ実行委員会
 内容:歴史的建築物が点在する名古屋市東区のみちづくりを考えるワークショップにコーディネーターを派遣します。



定例会議など

りた組織内の会議です。

② 『愛地球博記念公園マネジメント会議 本会議設立』

日時:3月21日(土) 13:30~17:00
 場所:モリコロパーク内愛知児童記念館ホール
 主催:愛知県公園緑地課
 内容:過去8回の準備会を経て、いよいよ公園マネジメント会議が発足。市民、企業、行政の対話と協働による公園運営が始まります。

① 『りた事業会議』

日時:3月6日(金) 9:30~12:00
 場所:Libra
 内容:りたの事業責任者全員が集まり、情報共有と方針決定を行う定例会議です。

② 『りた理事会』

日時:3月21日(土) 10:00~12:00
 場所:Libra201会議室
 内容:就業規則改定、平成21年度人事計画等について審議を行います。



NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた 会員募集中



団体会員 (年会費 10,000 円)

個人会員 (年会費 3,000 円)

☆ご推薦の団体などお心当たりがありましたらご連絡ください。

事務局
です

いよいよ年度末。
 今年はどんなことができましたか？
 来年度はどうしたいですか？

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地
 図書館交流プラザ(Libra)2階 市民活動センター
 NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた事務局
 ☎(0564)23-2888 Fax(0564)23-2898